

ドローン使って医療品輸送

新城 過疎化進む山間部で実証実験

豊川市と新城市、みかわドローン協会は3日、新城市長篠地区でドローンを使って医療品輸送の実証実験をした。

過疎化が進む山間部では、災害時の集落の孤立などが課題となっており、その解決のため3者などが参加する東三河ドローン・リバー構想推進

協議会のドローンによる物流実験を参考に、実証実験を計画、ユタカコミュニケーションのドローン事業部や同協議会などが協力し、実現した。

高齢者の負担軽減

高齢者が長距離運搬し、病院や薬局で薬を受け取っている負担軽減策

として、ドローンで薬を届け、無事に戻ってくるのが目標。実験には豊川と新城の両市職員や操縦運行を担当するユタカのスタッフが参加した。

ドローンはJA愛知東

長篠支店を離陸、1・7

分先の民宿「ながらまで

自動飛行して薬を届けた

後、同支店に戻ってきた。

着陸の際にはGPS(全

地球測位システム)の関

係で目標から数センチず

れて着陸する問題があ

る。ヘリパッドにマーカ

ーを付け、ドローンの搭

載カメラでそれを読み取

る着陸方法も実演した。

ユタカの藤原康正さん

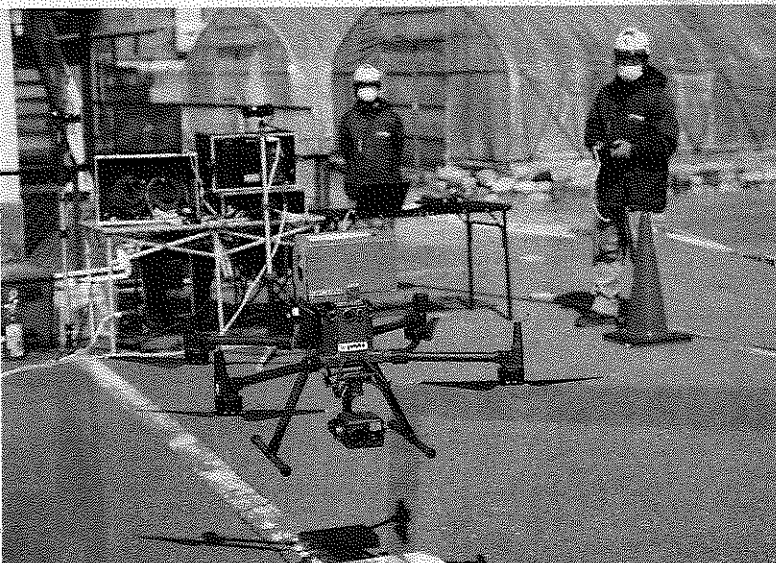
は「将来的に、ドローン

が患者に薬を届けられる

よう、今回の実験が第一

歩になれば」と話した。

【林大二郎】



薬が入った箱と一緒に飛び立つドローン＝JA愛知東長篠支店

0532-616111

豊橋市東郷町